

国際社会学部

2022 年度後期日程入学試験問題

小論文

正解・配点・解答例（200 点満点）

設問1 [40 点]

【解答例】

コロンブスはアメリカ大陸到達という偉業をたたえられている一方で、彼が遭遇した先住民を悪しざまにし、彼らを犠牲にして暴力的な植民地化を推し進める役割を担ったため、論争的になっている。（91字）

設問2 [40点]

【解答例】

Hans Sloane が大英博物館の創設に貢献したにもかかわらず、創設時の所蔵品の一部が、現在は認められていない奴隷労働や奴隷経済が提供する資金をもとに収集され、彼の奴隷貿易への関与が認められたため。（94字）

設問3 [40点]

【解答例】

この問題を解決するには変化が必要だが、誰かの独断的な決定や行動で安易に結論を導き出すのではなく、多くの人々が議論し合い、共に解決策を導き出せるペースを探ることが重要だと説いている。（90 字）

設問4 [80点]

【解答例】

Aの事例では、コロンブスの像が、彼の先住民に対する暴力や植民地化において果たした役割ゆえに撤去され、彼の偉業ではなく、彼や西欧の探検家がもたらした痛みや恐怖を悼むようになった。Bの事例では、大英博物館の創設に貢献したスロンの像が、奴隷制への関与ゆえに移設されつつも、過去の過ちが認知できるようなかたちで展示された。Cの事例では、人種差別を是としたコルストンの像が撤去された場所に、人種差別撤廃を訴える新たな像を設置したが、その後この像も撤去され、問題にどう取り組むかを今後話し合っで決めることがめざされた。三つの事例は、過去を象徴する像を撤去する（A）、移設する（B）、何を設置するかについて話し合う（C）という点で対応が異なっている。社会的な差別と対立の問題を解決・解消するには、複眼的な視点で物事を捉えることが何よりもまず必要だと考える。今日、私たちはインターネットなどを通じて自ら多くの情報を得ることができる。そうした技術を活かして、自分とは異なった価値観や意見を持つ人々が存在すること、そして彼らがどのように考え、行動しているかを意識して知ることが具体的に求められる。ただ、自分に都合が良い情報ばかりを探し求め、都合が悪い情報を無視する傾向は誰にでもあつる。だから、自分が偏見を抱いているかもしれないと常に警戒しながら、柔軟に情報に揺れ、知識を深め、対応を考えることが重要だと思つる。（594字）